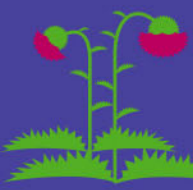


FUJI SABO通信

発行
国土交通省中部地方整備局
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話0544(27)5221
<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>



ふじあさみ

みんなで防ごう土砂災害

6月は土砂災害防止月間

——いのちを守る防災情報——

6月1日(金)～6月30日(土)



平成12年には全国42都道府県において608件の土砂災害(土石流180件, 地すべり137件, かけ崩れ291件)が発生しています。

富士山でも昨年11月21日に大沢川と竹沢川で土石流が発生し, 大沢川では近年10年間で4回の大規模な土石流があいついで発生しています。

こうした土砂災害から身を守るためには, 土砂災害に関する防災情報を正しく理解し, 避難路・避難場所をあらかじめ確認する等の「日頃の備え」と異変を発見した時等の「早めの避難」が大切です。

▲平成12年11月21日に発生した大土石流で流された2mの大量巨石(第9床固工)。



▲昭和47年 大沢川橋河底橋を流下する土石流。

富士砂防工事事務所では, 昨年度から遊砂地の内部や溪流保全工の周囲に砂防樹林帯を造成するため, 東三郎北海道大学名誉教授が考案したリサイクルポット苗木を, 小中学校などの協力を得て, コナラ, クヌギなどの広葉樹の植樹を積極的に実施しています。

■富士山に生育する木と その生育を知り森づくりを体験

富士宮自然森づくり会長, 渡辺定元立正大学教授のご指導のもと, 富士山に自生する広葉樹を選定し, 富士宮種苗組合から用意していただいた苗木に加えて, 昨年10月に大沢扇状地で砂防ウォークラリーで収集したドングリから発芽した苗木をつくりました。

大きく
なつてね!

砂防樹林帯をつくる 【リサイクルポット】大作戦



▲富士宮市西小学校



今年もすでに

9つの小中学校で

総合学習「富士山学習」の一環として、昨年に引き続き9つの小中学校に加え、北山中、さらに富士市の吉原第二中学校も参加する予定。

2年目をむかえ作業も手際よくすすめられ、中学生は2鉢ずつに挑戦。メッセージや絵を書き込まれた個性豊かなポット苗が2,000鉢完成しています。

去年拾ったどんぐりポットづくり。

昨年10月、大沢扇状地にて職員が拾い、選別したどんぐりを苗木に育て、ポットづくりをしました。

●山宮小学校



▲みんなで作ってくれて楽しかった。

●白糸小学校



▲今年の緑の少年団活動の初しごと。

●井之頭小学校



▲リサイクルポットは傑作ぞろい。



▲小中学生に負けられません！

生徒さんの声

4年生の時に富士山学習で土石流の勉強をしているため、説明の内容がよくわかりました。兄弟、友だちにも楽しさを話しました。



●上井出小学校



▲1年生は6年生のおにいさん、おねえさんに手伝

先生の声

今後、婦人会、老人会などの周辺住民の方々がお子さんやお孫さんともども参加していただけるような連携が実施できたらうれしいですね。

りで



●貴船小学校

●富士宮第四中学校



▲217名の新入生が鉢づくり作成。



●西富士中学校



▲全校で440鉢を手際よく完成。

生徒さんの



富士山を守っている人がいることや、カミネッコン（リサイクルポット）で簡単に植樹できるなど想像できなかった。

生徒さんの



リサイクルポットは、作るのが簡単なのに、富士山を守れるなんて凄いな。苗木を植えるのにいろいろな工夫をしているんだなと思いました。みんな楽しく作ることができてよかったです。



▲大沢遊砂地樹林帯でどんぐり集め。



●井之頭中学校



▲水を少々注いで、フタをして出来上がり。

**リサイクルポットづくりに
ご協力いただける方は
調査課までご連絡ください。**

●平成13年5月18日現在

学校名	山宮 小学校	宮第四 中学校	西富士 中学校	西小学校	白糸 小学校	上井出 小学校	井之頭 小学校	井之頭 中学校	貴船 小学校	計
ポット 製作数	200	440	440	210	150	130	100	120	200	1,990
参加した 生徒数	182名	217名	190名	188名	137名	102名	64名	42名	121名	1,243名

協力してくれた各学校・生徒の皆さん、ありがとうございました。

平成
13年度

富士砂防工事事務所の事業概要

1 概要

昨年11月21日に大規模な土石流が発生した大沢川において、大沢川の遊砂地の堆積土砂の緊急除石を中心に、南西野溪の土石流対策砂防施設及び土石流監視システムの整備を積極的に推進し、安全で安心できる地域づくりをはかります。

あわせて植生を積極的に導入し、除石土砂の活用をします。

また、富士山の噴火にともなう土砂災害に備え、調査・検討を積極的に推進します。

2 事業費

平成13年度	平成12年度	対前年比
3,314 (百万円)	2,820 (百万円)	18%アップ

3 主な事業

■大沢川においてあらたに流入した28万㎡に及ぶ土石流堆積土砂を遊砂地から取り除く除石工を実施します。発生土砂は、富士海岸の侵食対策事業や工業団地造成などの公共工事に有効活用します。

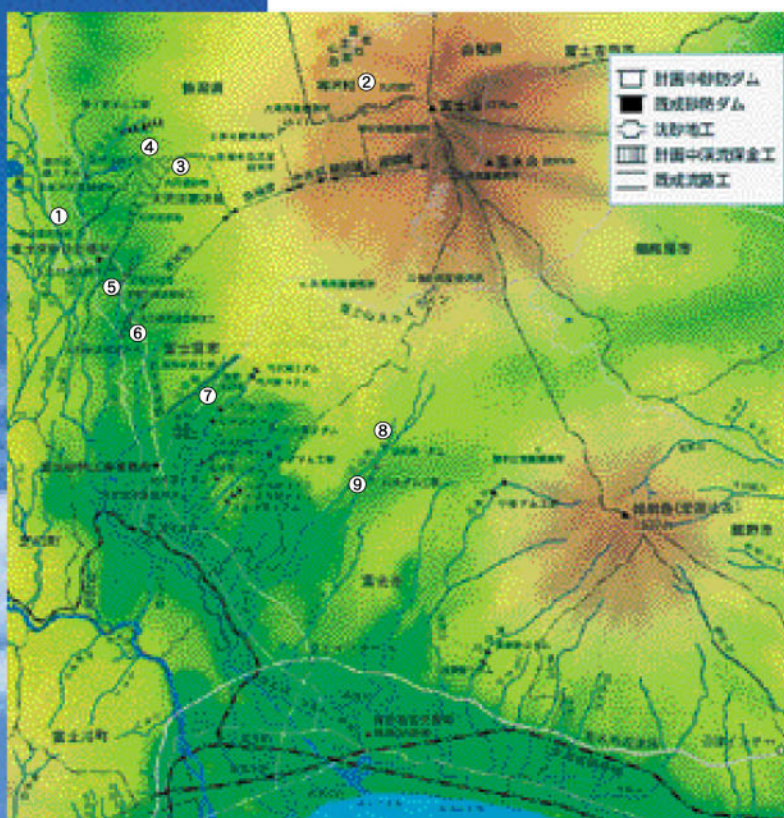
■凡夫川、砂沢川で土石流及び流木を捕足する砂防ダムを施工します。

■溪岸侵食の著しい足取川、大久保沢、溜野沢、猪の窪川で必要最小限の護岸工と床固工で良好な溪岸空間を創出する溪岸保全工、リサイクルポットによる砂防樹林帯整備をします。

■大沢川源頭部調査工事として、溪岸侵食防止工及び作業の安全性を向上させる遠隔操作施工などの試験施工をします。



▲溜野沢溪流保全工（浅間橋附近）



大沢川源頭部調査工事（スコリア層の補強）▲

番号	工事名
①	猪の窪沈砂地工護岸工事
②	大沢川源頭部調査工事
③	大沢川扇状地除石工事
④	大沢扇状地樹林帯整備工事
⑤	足取川溪流保全工工事
⑥	大久保沢溪流保全工工事
⑦	溜野沢溪流保全工工事
⑧	砂沢第1砂防ダム工事
⑨	凡夫川ダム工群工事

地域整備に役立っています。

概要

11トンダンブカー5万6千台にもおよぶあらたな堆積土砂を緊急に掘削運搬する緊急工事が本格化しています。富士海岸、原団地、圃場整備(沼津)、北山工業団地などへ活用するほか、一部は遊砂地に隣接するストックヤードに仮置きするものも含め、12月末までに取り除く予定です。



▲北山工業団地 平成11年3月撮影



▲除石作業中



▲ふるい分け作業中

除石工が必要な理由

ふだん水の流れている川に設けられた砂防ダムは、堆積した土砂を流水により徐々に流下させる「調節効果」があります。大沢川では、ふだん水が流れていないため、次に発生する土石流に対する捕捉能力が低下するばかりでなく、再度侵食され土石流が増大し、下流域で災害が発生することになります。そのため、人工的に取り除く工事が必要なのです。



工事に関するお願い

富士宮砂防出張所 所長 山本昭弘(平成13年4月1日着任)

長期に及ぶ工事(除石)となりますので、何かとご迷惑をお掛けすることとなります。工事関係者(業者の代理人・現場の作業員・工事車両の運転手)には交通安全には細心の注意を払うことを日頃から指導していますが、皆様のご協力をよろしくお願いします。富士砂防の工事車両には黄色いステッカーをつけています。お気づきの点がありましたら富士砂防出張所にご連絡をお願いいたします。

みんなの富士山と、みんなの自然を守るために…

富士山緑のゼミナールを開催します!

みんなで学ぼう! いまの富士山や森や植物たちの姿、そして役割を。
みんなで知ろう! 森や植物たちを理想の姿に戻すための方法を。

目的

静岡県は平成8年度に台風により激甚な風倒木を被ったことを契機に、富士山の自然植生の復元のための長期構想「富士山100年プロジェクト3776構想」を平成11年3月に策定しました。富士砂防は従前から植生を活用した砂防事業を推進していますが、「3776構想」に基づく森づくり、緑づくりを支援するため、市民による植樹としての評価の高い「リサイクルポット」を用い、小中学校において苗木ポットの作製・植樹を行い、富士山大沢扇状地などで砂防樹林帯を育成します。また富士山の自然植生と森の機能、市民参加による植生復元を学ぶ「富士山 緑のゼミナール」を富士宮市と富士市で開催いたします。

●入場無料

●主催/富士砂防工事事務所 共催/静岡森林管理署、静岡県、富士宮市、富士市、富士山自然の森づくり(NPO)

平成13年6月14日(木) 13:30~16:30 (予定)

場 所:富士宮市民文化会館 大ホール

対 象:市内中学生、先生(富士宮四中、北山中、大富士中など)、一般市民、国・静岡県・市町担当職員

第1部:講演会 13:30~15:20

(1)「森のはたらきと市民参加の森づくり」…(40分)

講師…北海道大学名誉教授 東三郎先生

(2)「富士山の自然と人」…(40分)

講師…国立科学博物館 植物第一研究室 室長 近田文弘先生

第2部:ポット植樹・作成実演、リサイクルポット苗木植樹

(富士宮四中のみ) 潤井川流路工 15:30~16:30

リサイクルポット作成実演…北山中、大富士中などの参加者とともに

平成13年6月15日(金) 13:30~16:30 (予定)

場 所:富士市消防防災庁舎・大会議室

対 象:富士市吉原第二中学校、一般市民、国・静岡県・市町担当職員

第1部:講演会 13:30~15:20

(1)「森のはたらきと市民参加の森づくり」…(45分)

講師…北海道大学名誉教授 東三郎先生

(2)「富士山の自然植生と森づくり」…(45分)

講師…横浜国立大学教授 藤原一繪先生

第2部:リサイクルポット作成実演 15:30~16:30

緑のゼミナールでは、いまの富士山のこど、森のこど、植物のこど、そして富士山や自然を守るためのいろいろな方法など、専門に研究している先生方の講演があります。私たちにできることを一緒に考えていきましょう。また、先生たちへの質問の時間や、森づくりに役立てる「リサイクルポット」を作る実演の時間があります。誰もがでてる「森づくり」の方法やその大切さをしかり身に付けて、みんなの手で富士山や自然を守り、仲間の輪を広げていきましょう。



北海道大学名誉教授
東三郎先生



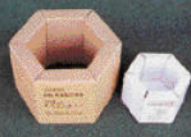
国立科学博物館 植物第一研究室 室長
近田文弘先生



横浜国立大学教授
藤原一繪先生

こんなに
カンタン

「リサイクルポット」づくりにチャレンジしよう!!



1 材料を用意します。

●本体(再生紙)



●マルチパッド
(上ふた)

●ベースパッド
(底ふた)

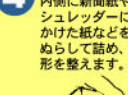
2 本体の凸部分
を差し込み口
に外側からは
め込みます。



3 折り目に従っ
て内側から折
り込んでいき
ます。



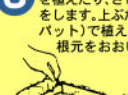
4 逆さにして壁の
内側に新聞紙や
シュレッダーに
かけた紙などを
ぬらして詰め、
形を整えます。



5 底ふたをはめ
込んでテープ
で止めます。



6 培養土を入れ、苗木
を植えたり、さし木
をします。上ふた(マルチ
パッド)で植えたものの
根元をおおいます。



7 草をはぎ取り、ならした
地面に密着するように
ポットを置きます。



※中心にミズナラやハルニレなどを置き、そのまわりにヤナギのポットを組み合わせて置きます。

緑や土砂災害に対する意識を高めよう！

平成
13年

土砂災害防止月間行事のお知らせ

6月1日から6月30日までは、土砂災害に対する様々な行事の開催や情報提供などを行います。ゼミナールなど、ふるってご参加ください。



▲土石流模型実験の実演

※写真は昨年のものです。

■広報車による管内巡回と街頭キャンペーン

管内を街宣車で広報。富士宮市役所 玄関前でキャンペーン。
ミス富士山を招き、土石流模型で実演。
日時／6月18日(月) 場所／富士宮市役所 玄関前

■パネル展

ポスター、パネル等の掲示によるPR。ビデオ設置。
日時／6月1日(金)～7日(木)
場所／道の駅「富士川楽座」4階・展望ラウンジ

■富士山緑のゼミナール

市民参加による植生復元を学ぶ講演とリサイクルポットの製作及び植樹を実施。
日時／6月14日(木) 場所／富士宮市文化会館・大ホール
日時／6月15日(金) 場所／富士市消防防災庁舎・大会議室

■フーチャン公園花植え

上井出保育園園児のみなさんと公園に花の苗を植え、流路工の役割を認識し環境美化を広報。
日時／6月21日(木) 場所／潤井川流路工 左岸(新田橋下流フーチャン公園)

■一日事務所長による広報

日時／6月8日(金) 場所／富士砂防工事事務所・富士宮市内
豊橋創造大学 寺本和子教授

■危険箇所の点検等(予定)

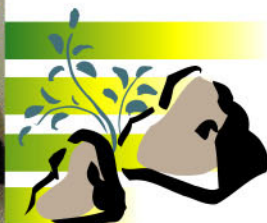
管内の土砂災害危険箇所の点検及び施設点検。
日時／6月上旬 場所／土石流危険渓流等

「大沢崩れ」模型製作

大沢崩れの崩壊メカニズムなどを検討するため、斜面の特徴及び溶岩層の重なりや形状などを忠実に再現した大沢崩れの模型を製作しました。



縮尺は1：1000のFRP樹脂製とし、一般展示用と実験用の2式製作しました。



富士山砂防情報提供装置

地域の方々ばかりでなく旅行者に、富士山土石流の実態と砂防事業を分かりやすく紹介するために、道の駅「朝霧」と「富士川楽座」に情報提供装置を設置しています。

この装置は、液晶タッチパネルを操作し50型プラズマディスプレイで、大沢崩れの崩壊と土石流や砂防事業等の説明VTR、幸田文の随筆「崩れ」が見られます。



富士山大沢崩れから流出した大量の土砂が堆積している大沢扇状地の広大な河原の中や樹林帯の中を、砂防や富士山の自然に関するクイズを解きながら歩き、砂防事業についての理解を深めてください。

■行程：富士宮駅——大沢扇状地スーパー堤防——扇状地第9床固
(9:00) (10:00) 河原の中をウォーク (12:00)
——昼食・学習会——スーパー堤防——富士宮駅
樹林帯の中をウォーク (15:00) (16:00)

■対象：小学生～一般（小学生は父兄同伴）

■参加費：500円（交通費及び保険料）■定員：約150名

■申込方法：往復ハガキに住所・電話番号・氏名・年齢（ご家族・グループの場合は全員と代表者）を記入して富士砂防工事事務所へお送りください。参加者カード（返信ハガキ）を返送します。



大沢崩れと御中道見学会

富士山の大沢崩れは、年間平均16万立方メートル（ダンプ3万2千台）の土砂が崩れています。

この大沢崩れの荒廃状況を、皆様ご自身の目で確かめて、自然の実態と砂防事業について理解を深めていただくための見学会を今年も行います。参加ご希望の方は、下記の要項にてお申し込み下さい。

■対象：原則として県内在住の方 ■定員：35名（1回あたり）

■実施日：第1回／7月26日（木）申込締切日 7月12日（木）
第2回／8月29日（水）申込締切日 8月15日（水）
第3回／9月26日（水）申込締切日 9月12日（水）
第4回／10月19日（金）申込締切日 10月5日（金）

■参加費：1,000円（交通費及び保険料）

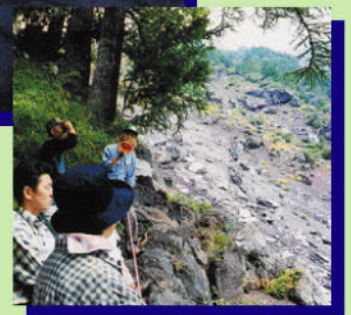
■コース：集合／富士宮市浅間神社湧玉の池東バス停（8:20）
湧玉の池東バス停（8:20）——バス 富士スバルライン
御庭（10:30）——徒歩 御中道・大沢（12:30）——昼食
——徒歩 御庭（15:00）——バス 湧玉の池東バス停（17:00）

■申込方法：往復ハガキに住所・電話番号・希望日（複数可）・氏名・年齢（ご家族・グループの場合は全員と代表者）を記入して、締切日までに下記の所へ申し込んでください。

〒418-0004 富士宮市三園平1100番地 国土交通省 富士砂防工事事務所 TEL.0544-27-5221

※見学希望者が多い場合は抽選とします。見学いただく方へは、その旨別途ご連絡いたします。

■その他：1.コースには徒歩での山歩きが4時間程度入ります。小学生の参加は高学年で父兄同伴とします。
2.見学コースには危険な所もありますので、見学者には別途配付する見学案内を遵守していただきます。



第6回 富士山への手紙・絵コンクール

富士山から学んだこと、元気づけられたこと、美しい富士山をいつまでも残していくために…、富士山と共に生きている私たちの富士山に対するそれぞれの思いを手紙に、絵に描いて送ってください。

応募要項

■手紙部門

応募資格：小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
作品規格：一人1点（未発表のもの）、ハガキ400字以内

■絵部門

応募資格：どなたでも応募できます。
作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご遠慮ください。用紙は四つ切を使用してください。

審査賞：特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。

審査委員長 村松友視（作家）

応募期間：平成13年7月1日（日）～9月16日（日）（当日消印有効）

応募先：〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地

富士宮市教育委員会 学校教育課

富士山への手紙・絵コンクール事務局

応募方法：詳しくは6月中旬に主催者が配付する「応募要項」をご覧ください。

主催：富士宮市・富士宮市教育委員会

（社）富士宮青年会議所・国土交通省富士砂防工事事務所

情報提供のお願い

富士砂防が関係する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いいたします。

<連絡先>

富士砂防工事事務所

担当／建設専門官・茶山、または調査課長・時田まで

TEL.0544-27-5221（内線516、351）

<お問い合わせ先>

■国土交通省富士砂防工事事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL.0544-27-5221

インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出826-1

TEL.0544-54-0236